

議員と語るかい 報告書

No 1

開催日時	平成25年 8月 5日 14:00 ~ 15:55		
開催場所	霧島市 議会棟 第1委員会室		
団体名	霧島温泉旅館協会	参加人数	6人
出席議員 (4班)	脇元 敬、常盤信一、前川原正人、池田 守、徳田拓志 時任英寛、蔵原 勇、吉永民治		
役割分担	班長(脇元 敬)	記録係(時任英寛)	
テーマ及び具体的な内容	<p>(テーマ) 霧島温泉郷の活性化について</p> <p>(具体的な内容) 霧島市広域合併に伴い、観光行政・観光協会も合併し、霧島温泉郷独自の宣伝・営業活動が弱体化している。指宿温泉郷との格差が広がり、宿泊料金にも影響が出ている。なんとか改善を図るための協議をお願いできないか。</p>		
意見交換会での主な意見等	<p>(凡例 ◆: 市民の方々からの意見 ⇒: 議員からの回答 ◇: 議員からの質問 →: 市民の方々からの回答)</p> <p>(団体からの現状説明)</p> <p>①合併による従来との関係団体との関係が希薄になっている。 ②テレビドラマ、イベント等による一過性の集客観光になっている。 ③「おもてなし」の姿勢を目指す、従業員、パート者が集まらない。地域(当該地域含む 旧牧園町、霧島町)人口の減少のため人材確保が困難になっている。 ④入湯税の更なる活用策の検討。温泉活用の植物園、散策道の検討。 ⑤国道223号線の関連橋(丸尾地区)の完成に伴う丸尾の滝周辺の景観整備が必要。 ⑥地理的不便性、JR駅(霧島温泉、霧島神宮)からの交通アクセス(二次アクセスの確保)指宿VS霧島の観光バトルが新幹線開通に合わせ開催されたが、霧島温泉郷としてのPRにはならなかった。 ⑦国際音楽祭参加のアーティスト・受講生に対して、霧島市として「ゆかた」のプレゼント等は検討出来ないか。温泉街を夜出歩く客が少ない。ホテルから出ない。温泉街の風情が感じられない。暗い通りの感がある。接客メンバー確保も困難。 ⑧様々な活性化対策を考えるが、経営者が当該地域に不在のため意志決定が困難。</p> <p>◇後継者についてはどうか。 →代替りをしている施設もあるが、若手を中心に推進部会を設置し(30代~40代)別働隊として活動している。</p> <p>◇外国客の誘致への努力は →路線上(直行便があるため)、台湾、韓国客は多い。全体宿泊客の1割程度はある。中国客の目的は観光目的ではなく買い物目的であり、当該地域においては少ない状況にある。</p>		

議員と語りかい 報告書

【 8月 5日 4班】

No 2

意見交換会での 主な意見等	<ul style="list-style-type: none">◆活性化のための様々な方策を多方面の皆さんと意見交換、協議したい(行政、議会等) ◇地元の農家等の生産品の活用は出来ないか。 →コスト高の上、安定的な量が確保出来ないため、困難な状況(旧牧園町時、数回農業団体とも協議) ◆旅館・ホテル等の耐震検査等に対する行政の支援をお願いしたい。
------------------	---